

コロナで困っている女性を 支援しようイベント(実施報告)



川崎市社協は、桐光学園高校に通う女子生徒3人組（以下、「高校生」という）から寄せられた「コロナで困っている女性を支援したい」という気持ちを実現させるべく、NECプロボノ倶楽部と協働により、高校生の取組を支援してきました。

具体的な支援方法として食料配布イベントを開催することとなり、開催に向け広く寄付金品の募集を呼びかけるなど準備を進めてきました。

この度、イベント終了にあたり、次のとおり報告します。

1 実施日 令和4年5月19日（木）16時～19時

2 場所 NEC玉川ルネッサンスシティホール

3 内容 子育て中の女性（特にひとり親女性）支援を目的とした食料支援と親子の思い出作りの提供及び、抱える悩み解決に向けた相談コーナーの設置

(1) 食料配布

※市民、企業、団体等からいただいた寄付物品の配布（約1週間分の食糧）

(2) 親子で紙石鹸づくり

(3) 木育おもちゃの広場

(4) 相談コーナーの設置

※専門員による各種相談対応

①子育て相談（市内児童家庭支援センター）

②女性の悩み相談（男女参画共同センター）

③生活相談（地域福祉情報バンク）

④お仕事相談（福祉人材バンク）



4 来場者 70世帯（150名※主催者発表）

5 寄付提供（寄付提供呼びかけ期間 4月22日～5月15日）

(1) 寄付物品 5,325点（食料 2,849点 日用品 2,476点）

(2) 寄付金 75,622円

※余った寄付金品は、食糧支援かわさきにて活用

<寄付者（順不同）>

市民の方（多数）／21会／野村証券新百合ヶ丘支店／多摩区応援プロジェクト
當行寺（愛知県田原市）／味の素株式会社 川崎事業所／社会福祉法人 大慈会
社会福祉法人緑成会 新緑の郷／社会福祉法人セイワ 高齢者福祉施設すえなが
社会福祉法人百春会 特養おだかの郷／社会福祉法人鈴保福祉会 特養柿生アルナ園
社会福祉法人緑成会 新緑の郷／社会福祉法人ともかわさき 三田福祉ホーム／
社会福祉法人母子育成会 特養しゃんぐりら・ベビーホーム／
社会福祉法人厚生館福祉会 さくら乳児院／社会福祉法人川崎愛児園／
フードバンクかながわ／社会福祉法人神奈川県共同募金会

6 経 過

➤令和3年11月

川崎市社協に桐光学園高等学校女子生徒有志3名（以下、「高校生」という）から、コロナで困っている女性を支援したいとの相談が持ち掛けられる。高校生の思いを具体化するため、川崎市社協が寄り添いながら、考えを整理し企画をまとめ、イベント企画書を作成。

➤令和4年2月

川崎市社協常務理事に高校生が企画をプレゼンし、川崎市社協として支援していくことを確認

➤NECプロボノ倶楽部が、高校生の企画に関心を持っていただいたことから、高校生たちが企画内容を伝える。共感していただき、イベント実施に協力していただけることとなる。

また、イベント会場としてNEC玉川ルネッサンスシティホールを提供していただけることとなる。

➤令和4年3月

NECプロボノ倶楽部が社員の持つノウハウや経験などを提供を通じ、高校生の企画をブラッシュアップさせていく。（週1回定例会議をオンラインで開催）

➤令和4年4月

川崎市社協の持つネットワークを活用し、寄付金品の提供及び、参加者募集を開始

➤令和4年5月19日 イベント開催

7 取材等

（1）テレビ TBS、イッツコム

（2）新聞 読売新聞、朝日新聞、神奈川新聞、東京新聞、タウンニュース

（3）ラジオ FMよこはま

（4）その他 専修大学学生メディア「VIRIDIS」

TBS



東京新聞



タウンニュース



8 当日協力者

ボランティア8名（呼びかけ協力：幸区社協、中原区社協）

社会福祉法人セイワ みやうち（高齢者施設サービス及び障害者施設サービス）

9 主催等

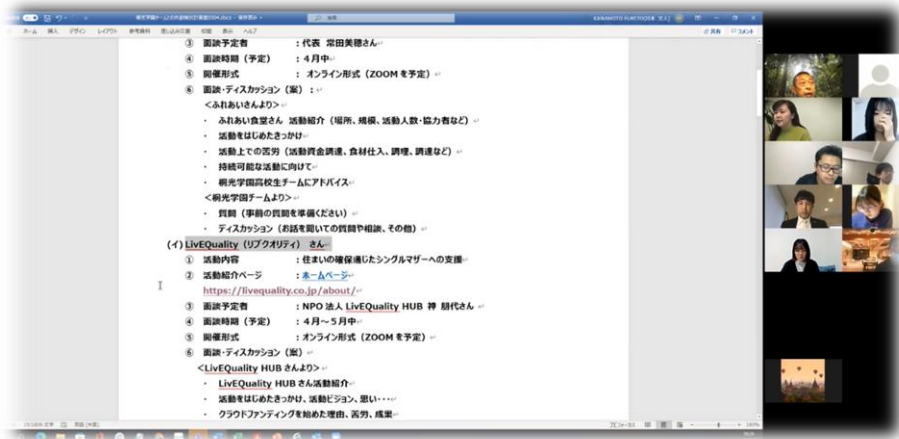
（1）主催・企画 桐光学園高校女子生徒3人

（2）共催
社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会
NECプロボノ倶楽部



1 0 事前準備

(1) 定期的な打合せ (Zoom にて) 週 1 回開催)



(2) 食糧寄付呼びかけ、食糧仕分け作業



(3) 当日配布した寄付物品



(4) イベント当日の様子

①福)セイワみやうち(高齢者施設サービス及び、障害者施設サービス)の協力による搬出作業



②食糧配布コーナー(1週間分の食糧等を配布)



③親子で遊べるコーナー(親子で思い出を作ってもらう目的にて実施)

○紙石鹸づくりコーナー



○木育コーナー



④相談員による相談コーナー

